

PCR検査の定期的 検査実施について

日本共産党

高田 浩子

問 クラスターが発生しやすい医療機関・高齢者施設・福祉施設・保育施設・学童施設の職員等エッセンシャルワーカーの方々への、定期的PCR検査を実施する考えについて伺います。

答 定期的PCR検査は、行政検査の対象とならないもので、事業所が任意で行う必要があります。

砂川市では、医療機関や介護事業所等には、感染症対策慰労金を支給しているところであり、各事業所の判断により任意でPCR検査等の活用ができるものと考えています。

問 さえあい条例」の制定について伺います。

認知症さえあい条例の 制定について

問 2025年には65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になるという推計値が出されています。

高齢化がいつそう進み、認知症有病者の増加が見込まれることから、認知症の防止、早期発見、有病者と家族を支え合う「認知症さ

さえあい条例」の制定について伺います。

答 本市では、地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、地域や市立病院と連携し認知症初期集中支援推進事業に取り組んでいます。また、地域や職場において、認知症の方やその家族を支える認知症サポーター養成講座を開催するほか、介護負担が軽減されるようひだまりの会の活動を支援しています。

行く先には条例も視野に入れながら、手順を踏んでやっていこうと思います。

行く先には条例も視野に入れながら、手順を踏んでやっていこうと思います。



人財バンクプロジェクト について

創生会

多比良和伸

問 砂川市はこれまで様々な人材を育成していますが、まちづくりに関連する会議体を見ると依然として固定化がみられ、年齢構成や男女比においても偏りが見受けられます。今後、持続可能なまちづくりを行うには、能力、活力ある新しい人材を掘り起こしていかなくてはなりません。

そこで、人財バンクプロジェクトとして、職業、性別、年齢に関わらず、まちづくりへの思いや、得意分野を調査し、適材適所でその能力を発揮して頂く体制を整えることが出来ないか伺います。

答 個人を登録し、相応する人材を紹介する制度については、全国的には少数ですが、自治体に設置されている実態があります。

当市では、市政への中立・公正性の確保及び、市政への市民意思の反映を図るため、附属機関等の委員の選任については、女性及び青年の市政への参加を積極的に推進し、同一委員として選任できる

機関を5機関までとすることや、女性や公募枠の委員定数を30%とした努力目標を定めた「砂川市附属機関等の設置等に関する取扱要綱」を運用していますが、委員の固定化や偏りについては一部の附属機関等で見受けられます。

人財確保の観点からも「まちづくり人材バンク」がこれらの解消方法であると考えますが、その体制整備については他市町の事例を参考に調査・研究していきます。



行政手続きにおける 押印廃止について

公明党
辻 勲

問 国において行革担当大臣が推し進めている押印廃止について伺います。

答 砂川市では、3月19日を期限として、行政手続きにおける押印対象リストの洗い出しを進めており、まとまった段階においては、国や先行する自治体の事例、国がまとめたマニュアル等を参考にしながら、押印の見直しについて積極的に取組んでいきたいと考えています。

SDGs(持続可能な開発 目標)の推進について

問 平成29年に閣議決定されたまち・ひと・しごと創生総合戦略でも、地方自治体におけるSDGsの取組み推進が位置づけられています。砂川市第7期総合計画においても推進が示されていることについて伺います。

答 砂川市の取組みとしては、SDGsの17の包括的目標が、これまで実施してきた各施策や、これ

から取組むべき課題などに共通するものが多くありました。

第7期総合計画の策定において、総論では時代の潮流としてSDGsの推進を捉え、さらに基本構想においては、選択と集中による効率的な行政運営を進めるとともに、SDGsの視点を踏まえながら、社会・経済・環境の面から持続可能なまちづくりを進めるとしました。

また、第7期総合計画の事業と整合を図って策定を進めた第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略でも取組むこととしました。



砂川駅前地区整備 基本計画(案)について

市民の声
小黒 弘

問 「旧パーラーグラウンド」周辺は、砂川市のまちの顔となる場所であり、中心市街地活性化の中核となる位置にあります。

作成された砂川駅前地区整備基本計画(案)によると近隣の金融機関との連携は見られませんが、検討はあったのか伺います。

答 北海道銀行及び北洋銀行とは一体的な建設の可能性についても協議をしましたが、両銀行共に難しいとの回答を得ています。

問 用途別の規模設定に商工会議所、SUBACO(スバコ)、観光協会の現状面積を参考とあるが、各団体は入る前提なのか伺います。

答 商工会議所、観光協会とは相談させていただき、まだ正式な意思表示は頂いていませんが、入居頂く前提で基本計画(案)を立てました。また、スバコについては、引き続きその機能を発揮できるよう取り込んでいく考えです。

問 基本計画(案)によると、まちなかの賑わい創出に向けて固定

店舗のイメージはないと思われませんが、その考えについて伺います。

答 店舗としてのスペースを確保するのではなく、フリースペースや屋外広場で好きな曜日や好きな時間帯、好きな場所で、ワゴン等で販売を行うことにより、参画しやすい環境を作り出し、出店者が将来、チャレンジショップによる店舗をもつ足掛かりやアンテナショップによる既存店舗への誘導、また、訪れる方の楽しみの場所となればと考えています。



旧パーラーグラウンド

ほかに、「砂川高校の出願状況について」質問しました。